



中川だより



墨田区立中川小学校
墨田区立花5丁目49番地4号
TEL 03(3617)7921

NAKAGAWA

令和8年7月

中川小ホームページ <http://www.sumida.ed.jp/nakagawasho>

開校75周年 12月12日(土) 記念式典開催

- よく考え、進んで学習する子
- 思いやりの気持ちを持ち、仲良くする子
- からだをきたえ、ねばり強く努力する子



ならぬことはならぬ

校長 三ヶ島 誠一郎

7月になります。あつという間に夏休みが見えてきました。暑さに気を付けながら過ごしたいと思います。

江戸時代、会津藩（今の福島県）では人材育成に力を注いでいました。6歳から9歳までの藩士の子弟は、地区ごとに10人ほどの組に分けられました。この組のことを「什（じゅう）」と言いました。「什」は什長（じゅうちょう：一番年上の9歳の子）をリーダーに子供たちが自主的に活動します。そして、将来、会津藩士としてふさわしい行動ができるよう、掟（おきて：きまり）がありました。それが「什の掟」という7つのルールです。

- 一、年長者の言ふ（う）ことに背（そむ）いてはなりません
 - 一、年長者にはお辞儀（じぎ）をしなければなりません
 - 一、虚言（きょげん：うそ）をいふ（う）ことはなりません
 - 一、卑怯（ひきょう）な振舞（ふるまい）をしてはなりません
 - 一、弱い者をいぢめて（いじめ）てはなりません
 - 一、戸外（こが）いで物を食べてはなりません
 - 一、戸外で婦人（ふじん）と言葉を交へては（まじえては：話しては）なりません
- ならぬことはならぬものです（最後の締（し）めの言葉）



もちろん、今の社会にそのまま当てはめることはできません。特に7番目は差別につながりかねません（しかし、宗教的な問題ですが、現在でもイスラム圏の国の中には、安易に女性に声をかけるのはタブーの地域もあります）。

ただ、私は、什の掟の中には現代でも通じるものがあるし、何より最後の締め「ならぬものはならぬ（ダメなものはダメ!）」にとっても潔（いさぎよ）さのようなもの、言う側にも厳しい覚悟（かくご）のようなものがあると感じています。

幼いころ、両親に

「友達の家は〇〇してもいいんだって!」「△△さんの家は、お小遣い□円だよ!」

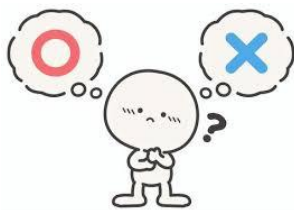
と、たくさん交渉しましたが、決まって

「うちはうち!」「だめなものはだめ!」「だったら△△さんの家の子にならなさい!」

と、手厳しい反撃をされました。

世に出るまでには、様々なルールを知り、それを守るようになっていなければなりません。多様性が叫ばれ、認められるようになって、各家庭のルールはあるでしょうし、社会でも他人に迷惑をかけるような行為は認められません。

7月8日(水)～10日(金)と、5年生と那須甲子移動教室に行ってきます。「ならぬことはならぬ」もありますが、規律ある中でも楽しい思い出を作りたいと思います。



スリッパは ならべよう。